

霞ヶ浦用水地域畠かん営農講演会

令和7年11月21日、下妻市立千代川公民館において、霞ヶ浦用水地域の生産者をはじめ関係市町・関係機関等から約130名の参加をいただき、「霞ヶ浦用水地域畠かん営農講演会」を開催いたしました。

本講演会は、霞ヶ浦農業用水推進協議会が主催、茨城県県西農林事務所が後援し、霞ヶ浦用水を活用した畠地かんがい営農についての理解を深めることを目的として、毎年開催しております。

今年度は、講師二人を迎え、まず笠間市 爆発農園株式会社代表取締役 長谷川 愛子 様からは、「爆発農園ものがたり～新規就農を振り返って～」と題して、新規就農時から現在までの経験を語っていただきました。

次に、東京千住青果株式会社常務取締役 三田 満男 様からは、「卸売市場が茨城県産地に期待するもの」と題して、卸売市場から茨城県への今後の展望について、ご講演をいただきました。

参加者からは、「大変、面白かった」「非常に参考になった」等の声をたくさんいただき、大変有意義な講演会となりました。

また、茨城県農業総合センター専門技術指導員 寺門 ゆかり様からは、「気候変動に対応した畠地かんがいの活用について」と題し、畠地かんがいを活用した新たな高温対策技術について情報提供をいただきました。

なお、関係業者7社にて、農業資材の野外展示も行い皆様に興味深くご覧いただくことが出来ました。

